



交流館では、みんなが交流し、つながり合うことを目的としてさまざまな講座を行っています。

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

この日9月23日は1951年に世界ろう連盟（WFD）が設立された日です。

今年のテーマは

No Human Rights Without Sign Language Rights

「手話言語権は人権だ！」となっています。

また、毎年9月最後の1週間を「国際ろう者週間」として、1958年からWFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、イタリアのローマで始まりました。この1週間は毎日異なるテーマが決められています。（今年のろう者週間は9/22(月)から9/28(日)です）

福山市では2017年に「福山市こころをつなぐ手話言語条例」を施行しています。

手話が「ことば」であることや、手話への理解・普及と、市の責務、市民と事業者の役割を明らかにして、すべての市民が共生する地域社会を実現することをめざしています。

今年は「東京2025デフリンピック(11/15-26)」が開催されます。障がいがあるなしに関わらず、お互いの違いを認め、尊重しあう社会について考えてみませんか。



子育て交流事業

にんじんばたけ

～はらぺこあおむしあそび～

☆ 日時

10月21日(火)

☆ 時間

10:00 ～ 11:30

☆ 場所

加茂交流館

☆ 予約は不要です

☆ 対象 0歳～4歳くらい

あそびに
きてね♪



地域交流事業

福山 おもちゃびょういん・かも

こわれたおもちゃを治します！

☆ 日時

10月25日(土)

☆ 時間

9:30 ～ 11:00

☆ 場所

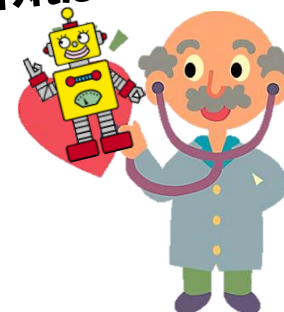
加茂交流館

☆ 予約は不要です

※治療費は無料です

※診察の結果、治療できないおもちゃもあります

※部品交換など必要な場合は実費負担となります



また
あそんでね！

9月10日から16日は自殺予防週間です

多くの自死は、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、格差や社会の構造的な要因を背景に、解雇、賃金切下げ、過労などの労働問題、多重債務、生活保護などの生活問題、DV、虐待などの家庭問題、いじめなどの学校問題が複合的に重なり、心理的に追い込まれ、自らの自由意思で適切な行動を選択することができなくなった結果であるといえます。

日本の自死者数は、1998年以降14年連続で3万人を超えています。2006年「自殺対策基本法」が施行され「個人の問題」と思われがちだった自死が「社会の問題」と認識されるようになり、対策の推進もあって、自死者数は減少しています。それでも毎年2万人を超えています。

厚生労働省は2024年の自死者数は20,320人と1978年に統計を取り始めてから2番目に少なくなったっぽうで、2024年に自ら命を絶った子ども*は529人と過去最多を更新したと発表しました。これは1週間に10人の子どもが自死を選ばざるを得ない状況にあるということです。(*小中高校生)

また、2018年に5,276人だった広島県不登校の児童・生徒は2023年には10,764人と倍以上にのぼっています。



か も こうりゅうかん
加茂交流館では、

せいかつじょう そうだん おう
生活上のさまざまな相談に応じています。

しごと しゅうしょく せいかつ がっこう ふくしせいど じんけんしんがい
仕事や就職、生活や学校、福祉制度や人権侵害など

せいかつ こま そうだん おう
生活のなかでの困りごとの相談に応じています。



多くのこどもはなるべくサインを出さないようにと頑張っています。心配をかけたくないという日常の中で、ぽろっとサインを出す瞬間があるとき、その瞬間を逃さないためには、時間の長さがとても大切です。質がある短い時間よりも、何もなくてもただそばにいる。忙しいだろうが、そうした時間をこどもといっしょに過ごすことが大切といわれています。また、こどもや保護者が独りにならないような地域づくりも必要です。

自らの自由意思で適切な行動を選択することができなくなった結果の自死は、自己責任という言葉で済まされることはありません。自己決定権や生きる権利といった究極の基本的人権が侵されている課題ともいえます。



福山市では、差別を許さず、すべての人が大切にされる社会をめざして住民学習会が行われています。私たちの暮らす地域でも、「差別のない ずっと住み続けたい 住み続けることができるまちづくり」をめざして、住民学習会・まちづくり座談会が行われます。みんなで一緒に考えてみましょう。

右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、加茂交流館の施設や事業・講座などを確認していただけます。



- *「登録型本人通知制度」の電子申請ができるようになりました。福山市ホームページの「福山市電子申請サービス」から手続きしていただけます。
- *スマートフォンなどをお持ちの人は、右の二次元コードを読み込むことで手続きが行えます。(対応機種のみ)

